

NO DRUGS

薬物乱用のない社会を

○大麻→乾燥大麻「マリファナ」、液状の大麻「大麻リキッド」、他にも大麻グミや大麻クッキーなどがあります。

幻覚作用を有し、抑うつ、興奮、錯乱、パニック発作などの他、短期記憶障害などの作用が現れ、統合失調症等の発症リスクの増加、記憶障害などが起こるおそれがあります。

○覚醒剤→白色の粉末や無色透明の結晶で、無臭でやや苦みがあり、常習者等の間では「シャブ」、「アイス」、「S（エス）」、「スピード」などと呼ばれています。

強い興奮状態を引き起こし一時的に眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えたような感じになり、効果が切れると、激しい脱力感、疲労感等に襲われ、幻覚や妄想等の精神錯乱状態に陥ります。

☆「ダメ。ゼッタイ。」を合い言葉に社会全体で薬物乱用のない環境づくりを進めていきましょう。

○薬物に関する問合せ、相談

- ・最寄りの警察署、交番、駐在所または警察本部警察相談室
(電話0952-26-9110または#9110)

登山計画書の提出をお願いします

佐賀県内の山に登る場合は、佐賀県警察本部地域課又は山を管轄する警察署に提出してください。

入山予定日の一週間前を目処に提出をお願いします。
インターネット・郵送・FAXで受け付けています。

下記のQRコードを読み込むと、佐賀県警察ホームページ内の「登山計画書提出フォーム」に接続されます。

提出は24時間可能ですが、平日午後5時15分から翌朝午前8時30分までの間、土曜、日曜、祝日及び年末年始の期間は、開封を行っておりません。

○佐賀県警察本部地域課 ○インターネット

TEL 0952-24-1111

FAX 0952-28-0568



少年の非行・被害防止

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です!!

子どもの皆さん、悪いことにさそわれたり、犯罪の被害にあったり、悩みがあれば、信頼できる大人に相談しましょう!

- ・タバコを吸おうとさそわれた
- ・深夜に遊ぼうと言われた
- ・はずかしい写真を送れと言われた
- ・楽にかせげるアルバイトがあると言われた
- ・体をさわられた
- ・大麻にさそわれた



保護者の皆さん、子どもは、犯罪被害や悩みを打ち明けることが難しい場合もあります。

日頃からコミュニケーションをとり子どものSOSにいち早く気がつくことが大切です。

そのためにも、子どもたちの多くが使っているスマートフォンやゲーム機をペアレンタルコントロールやフィルタリングを活用し適切に管理しましょう。



警察では、非行・被害など少年に関する悩みごとや困りごとに関する相談を受け付けています。

《佐賀県警察少年サポートセンター》

ふかく なやむな
ヤングテレホン 0120-29-7867 (平日8:30~17:15)

水の事故に気を付けましょう

海水浴や川遊びなど、水に親しむ機会が増えるこの時期は、特に水の事故への注意が必要です。

- ・遊泳禁止区域では泳がない
- ・子供たちだけで海や川に行かない
- ・天気が悪いときや波が高いとき、増水しているときは近づかない
- ・自分の泳ぎを過信しない

等水の事故に遭わない様に心がけましょう。

また、危険な場所にいる子供を見かけたら注意し、水難事故防止に努めましょう!